

国立歴史民俗博物館 研究報告

Bulletin of
the National Museum
of Japanese History

2013



鎌倉中期の京・鎌倉における漢籍受容者群 福島金治

八世紀の寺院による土地領有と国家 三河雅弘

腰飾り・抜歯と氏族・双分組織 春成秀爾

古墳時代の首長 広瀬和雄

【研究ノート】

霊元天皇と三条西実教 野村 玄

縄文土器製作に関する予備的実験

小林謙一・坂本 稔・村田六郎太

加曾利貝塚土器づくり同好会

【資料紹介】

曼殊院門跡所蔵『論語総略』影印・翻印 高田宗平

第175集

平成25年1月

**国立歴史民俗博物館
研究報告
第175集**

平成25年1月

目次

鎌倉中期の京・鎌倉における漢籍受容者群……『管見抄』と『鳩嶺集』のあいだ	福島金治	1
八世紀の寺院による土地領有と国家……讃岐国山田郡弘福寺領の実態と国家の土地把握	三河雅弘	17
腰飾り・抜歯と氏族・双分組織	春成秀爾	77
古墳時代の首長……前・中期古墳の複数埋葬をめぐる	広瀬和雄	129
〔研究ノート〕		
霊元天皇と三条西実教	野村 玄	41
縄文土器製作に関する予備的実験……縄文時代草創期土器の混和材による縮小率の検討	小林謙一・坂本 稔・村田六郎太・ 加曾利貝塚土器づくり同好会	163
〔資料紹介〕		
曼殊院門跡所蔵『論語総略』影印・翻印	高田宗平	55

Bulletin of the National Museum of Japanese History Vol.175

Contents:

FUKUSHIMA Kaneharu

Group of Recipients of Chinese Classics in Kyoto and Kamakura in the Mid Kamakura
Period : Between Kankensho and Kyureishu 1

MIKAWA Masahiro

The Temple's Field Assessed by the Japanese Government in the 8th Century 17

HARUNARI Hideji

Clan System and Dual Organization of the Final Jomon Period
in Mikawa Region, Central Japan 77

HIROSE Kazuo

Chiefs in the Kofun (Tumulus) Period :
Consideration of Multiple Burials in the Early to Middle Kofun Period 129

Research Notes

NOMURA Gen

Thoughts on the Relationship Between Emperor Reigen and Sanjonishi Sanenori 41

KOBAYASHI Ken'ichi, SAKAMOTO Minoru, MURATA Rokurouta

and Kasori Shell Mound Pottery-Making Club

Preliminary Experiment Concerning the Making of Jomon Pottery :
Research on Reduction Rate Using Tempering Materials
in Incipient-phase Jomon Pottery 163

Research Materials

TAKADA Sohei

"Rongo-soryaku" owned by Manshuinmonzeki, Facsimile Edition and Reprint 55

『国立歴史民俗博物館研究報告』寄稿要項

- 1 国立歴史民俗博物館研究報告（以下「研究報告」という）は、歴史学、考古学、民俗学及びそれらの協業による広義の歴史学並びにそれらと関連する諸分野に関する論文、研究ノート、資料紹介、調査研究活動報告を掲載・発表することにより、それらの学問の発展に寄与するものである。
- 2 研究報告に寄稿することができる者は、次のとおりとする。
 - 一 国立歴史民俗博物館（以下「博物館」という。）の教職員（客員教員を含む。）
 - 二 運営会議委員
 - 三 名誉教授
 - 四 博物館が受け入れた各種研究員及び研究協力者
 - 五 特別共同利用研究員のうち受入れ期間中の研究成果の発表を希望する者で、指導教員が推薦した者
 - 六 博物館の館蔵資料を調査・研究し、その成果をまとめた者
 - 七 その他博物館において適当と認められた者
- 3 寄稿する場合は、論文、研究ノート、資料紹介、調査研究活動報告のうち、いずれであるかをその表紙に明記するものとする。なお、この区分についての最終的な調整は、博物館の研究報告編集委員会（以下「委員会」という）において行う。
- 4 原稿執筆における使用言語は、日本語を原則とする。ただし、他の言語を用いる場合は、日本語の翻訳か抄訳を付ける。
- 5 特殊な文字、記号、印刷方法が必要な場合は、委員会に相談するものとする。
- 6 寄稿する論文には、800字以内の日本語要旨と400語程度の英語要旨を付けるものとする。また、5項目以内のキーワードを付ける。
- 7 寄稿する原稿の分量は刷り上がり40頁(写真・図版・表および論文要旨等も含む)以内に収めること。また、写真・図版等は掲載箇所を指示し、大きさを指定すること。カラー頁は原則として認めない。なお、編集委員会の判断により、全体の分量等の関係から圧縮や分割掲載を指示する場合がある。

1頁あたりの構成：縦書	32字	27行	2段	(1,728文字)
横書	44字	37行	1段	(1,628文字)

文字の大きさ ：13Q
大きさの目安 ：版面 横 169mm × 縦 237.5mm（最大）
- 8 写真・図版等の掲載に関する許諾は寄稿者がとること。
- 9 寄稿の際は打ち出し原稿3部及びFD、CD等電子媒体1部を添付すること。
- 10 寄稿された原稿は、委員会において査読者を定め、審査のうえ、採否を決定する。
- 11 寄稿された原稿等は、採否に関わらず返却しない。ただし、写真・版下図版等返却が必要なものは申し出ること。
- 12 『国立歴史民俗博物館研究報告』の編集著作物としての著作権は、大学共同利用機関法人人間文化研究機構にあるが、投稿原稿等の著作権は、各投稿者にある。
- 13 論文要旨および英文要旨については、博物館のホームページに掲載を承諾するものとする。
- 14 機関リポジトリ等への掲載は、研究報告の紙型を用いた場合は研究報告刊行から一年後以降に、また紙型を用いないデータのみの場合は、研究報告奥付日以降に初出を明記した上で掲載をすることができる。
- 15 博物館で作成する抜刷は、100部までとする。
- 16 稿料の支払い、掲載料の徴収は行わない。
- 17 原稿の寄稿先および連絡先は、次のとおりとする。

〒285-8502 千葉県佐倉市城内町117番地
国立歴史民俗博物館研究報告編集委員会（代表電話 043-486-0123）

[国立歴史民俗博物館研究報告編集委員会]

館外委員（五十音順）

今村 峯 雄 国立歴史民俗博物館名誉教授
岩 城 卓 二 京都大学人文科学研究所
小 島 孝 夫 成城大学文芸学部
小 林 謙 一 中央大学文学部

館内委員

安 達 文 夫 情報資料研究系
上 野 祥 史 考古研究系
小 倉 慈 司 歴史研究系（編集委員長）
小 池 淳 一 民俗研究系
藤 尾 慎 一 郎 考古研究系（研究推進センター長）

国立歴史民俗博物館研究報告 第175集



平成 25 年（2013） 1 月 31 日 第 1 版第 1 刷発行

（非売品）

発行所



大学共同利用機関法人
人間文化研究機構

国立歴史民俗博物館

〒 285-8502 千葉県佐倉市城内町 117 ☎ 043-486-0123(代)

印刷・製本所



株式会社ハシダテ

〒 261-0002 千葉県千葉市美浜区新港 116-1 ☎ 043-243-3311(代)

〔装丁〕 中山銀士

Bulletin of the National Museum of Japanese History



Group of Recipients of Chinese Classics in Kyoto and Kamakura in the Mid Kamakura Period :
Between Kankensho and Kyureishu

FUKUSHIMA Kaneharu

The Temple's Field Assessed by the Japanese Government in the 8th Century

MIKAWA Masahiro

Clan System and Dual Organization of the Final Jomon Period in Mikawa Region, Central Japan

HARUNARI Hideji

Chiefs in the Kofun (Tumulus) Period :
Consideration of Multiple Burials in the Early to Middle Kofun Period

HIROSE Kazuo

Research Notes

Thoughts on the Relationship Between Emperor Reigen and Sanjonishi Sanenori

NOMURA Gen

Preliminary Experiment Concerning the Making of Jomon Pottery :
Research on Reduction Rate Using Tempering Materials in Incipient-phase Jomon Pottery

KOBAYASHI Ken'ichi, SAKAMOTO Minoru, MURATA Rokurouta and Kasori Shell Mound Pottery-Making Club

Research Materials

"Rongo-soryaku" owned by Manshuinmonzeki, Facsimile Edition and Reprint

TAKADA Sohei